

報道関係各位

岩手県立大学 研究・地域連携本部

岩手県立大学と滝沢市 IPU イノベーションセンター・パークの参画企業が協業して開講する 「インターンシップ型授業」の成果報告会を開催します

岩手県立大学が滝沢市 IPU イノベーションセンター・パークの参画企業（以下、イノベ企業）と取り組んでいる「企業学群」構想の一環として、イノベ企業が講師を務める本学学生を対象としたインターンシップ型授業を開講します。（8/17(月)～8/21(金)の5日間）

大学院ソフトウェア情報学研究科における開講科目「ソフトウェア実践特論」として実施するとともに、ソフトウェア情報学部3年を対象とする科目「インターンシップ」とも連携して、受講を希望する学生19名（大学院生10名、学部生9名）を受入れて実施します。

開講最終日に受講学生からインターンシップの成果について報告を行いますので、取材のほどよろしくお願いいたします。

※「企業学群」構想：本学の鈴木厚人学長の発案によるもので、滝沢市 IPU イノベーションセンター・パークに参画している企業を、岩手県立大学の学部・研究科と同等の「企業学群」と捉えて、企業や大学の相互依存関係を促進する地理的な近さのメリットである情報の共有、相互の信頼関係や協調関係を促すような集積拠点を実現しようとするもので、これにより、産学官連携による事業共創やイノベーション創出、人材育成を目指す。

記

1 開催名

インターンシップ型授業の成果報告会

2 日程

令和8年8月21日(金) 13:00～15:00

3 場所

滝沢市 IPU イノベーションセンター イノベホール
(岩手県滝沢市巣子 152-409)

4 発表者

- ・インターンシップ型授業を受講した学生
- ・協力いただいたイノベ企業5社
株式会社アルチザネットワークス、株式会社デジアイズ、株式会社ハイソフテック、
株式会社ぴーぷる、岩手インフォメーション・テクノロジー株式会社、

5 内容

イノベ企業5社に分かれて実施したインターンシップ型授業の成果について報告

【問合せ先】岩手県立大学研究・地域連携本部 上野山(うへのやま)

TEL: 019-694-3330 E-mail: uenoyama@ipu-office.iwate-pu.ac.jp



・インターンシップ型授業について

1.授業の概要

滝沢市 IPU イノベーションセンター・パーク参画企業（以下、イノベ企業）と本学で取り組む「企業学群」構想の一環として、イノベ企業が講師を務める本学を対象とした授業を開講する。

本授業は今年度で 3 年目で、大学院ソフトウェア情報学研究科における開講科目「ソフトウェア実践特論」として実施するとともに、ソフトウェア情報学部 3 年を対象とする科目「インターンシップ」とも連携する。

今年度の受講生は 19 名（大学院生 10 名、学部生 9 名）の予定。

2.協力企業

株式会社アルチザネットワークス、株式会社デジアイズ、株式会社ハイソフテック、株式会社ぴーぷる、岩手インフォメーション・テクノロジー株式会社、

3.日時

令和 8 年 8 月 17 日(月)～21 日(金) 5 日間の集中講座

4.場所

滝沢市 IPU イノベーションセンター及びイノベ企業 5 社

5.日程

8/17（月）午前

共通講義

①「地域企業とオープンイノベーション」 松野茂樹 学長特別補佐

②「イノベーションセンター/パークの紹介」 木下昇三 滝沢市経済産業部長

8/18（月）午後～8/21（金）午前

協力企業 5 社に分かれてインターンシップ

8/21（金）13:00～15:00

成果報告会 司会進行 ソフトウェア情報学部 教授 堀川三好

なお、最終日の成果発表を報道機関に向け公開します。（場所：滝沢市 IPU イノベーションセンター イノベホール）



（写真） 昨年度の成果報告会の様子

別紙資料

・企業学群について

企業学群の基盤組織 滝沢市・IPUイノベーションセンター・パーク企業、岩手県立大学



- 岩手県立大学地域連携棟：地域連携室、いわてものづくり・ソフトウェア情報融合テクノロジーセンター、地域政策研究センター
- 滝沢市第1、第2イノベーションセンター（貸しオフィス、会議室他）
- 滝沢市イノベーションパーク（企業誘致）



企業学群の設置目的

滝沢市IPU（岩手県立大学）イノベーションセンター/パークに参画する企業を、岩手県立大学の学部・研究科と同等の企業学群と捉えて、企業や大学の相互依存関係を促進する地理的な近さのメリットである**情報の共有、相互の信頼関係や協調関係を促すような集積拠点**を実現する。これによって、産学官連携による事業共創やイノベーション創出、人才育成を目指す。



➤ シリコンバレー創世記： 地域産業と大学の共進化

- ・ イノベーションや環境変化に素早く適応するには、企業や大学、研究機関の相互依存関係を促進するような柔軟な組織構造の方が高度に垂直統合が行われた自己完結型な組織、いわゆる大企業よりも好ましい
- ・ 地理的な近さ（産業集積）のメリットは、情報の共有、相互の信頼関係や協調関係を促すような社会構造によって補完されたときに実現する（**企業学群の着想**）